

# (仮称) 佐川合気公園 第2回 検討会



◆ 令和3年 10月23日 (土) 13時～15時40分

◆ 上水南公民館 2階ホール

旧佐川邸の公園化を考える会 / (株)あい造園設計事務所

## 本日のプログラム

---

- 13 : 00～ 開催挨拶
- 13 : 05～ 市からの「ふるさと納税について」説明と質疑応答
- 14 : 00～ 本日の説明  
前回のまとめ、身近な公園事例紹介等
- <休憩>
- 14 : 30～ グループワーキング
- 15 : 10～ 各グループの発表
- 15 : 30～ 本日のまとめ、閉会挨拶
- 15 : 40 第2回検討会終了



## ◆ワークショップ全体の流れ

### 第1回検討会（9月19日）

「現地を把握し、整備イメージを確認しよう」

- ・ 経緯説明、計画案、前提条件等の説明、計画地の現況確認

### 第2回検討会（10月23日）

「整備案を考えよう」

- ・ 身近な公園事例の紹介、整備案についての検討

### 第3回検討会（12月11日予定）

「構想案をまとめよう」

- ・ 各グループ案を一つにまとめる、整備案の作成

### 地元報告会（1月16日予定）

# 本日の説明

～整備案を考えよう～

## ◆第1回検討会の振り返り

### 第1回検討会（9月19日）の内容

- ・ワークショップ全体の流れ
- ・これまでの経緯等の説明
- ・計画地に関する条件等の説明
- ・**現地確認**
- ・**グループごとの意見抽出**

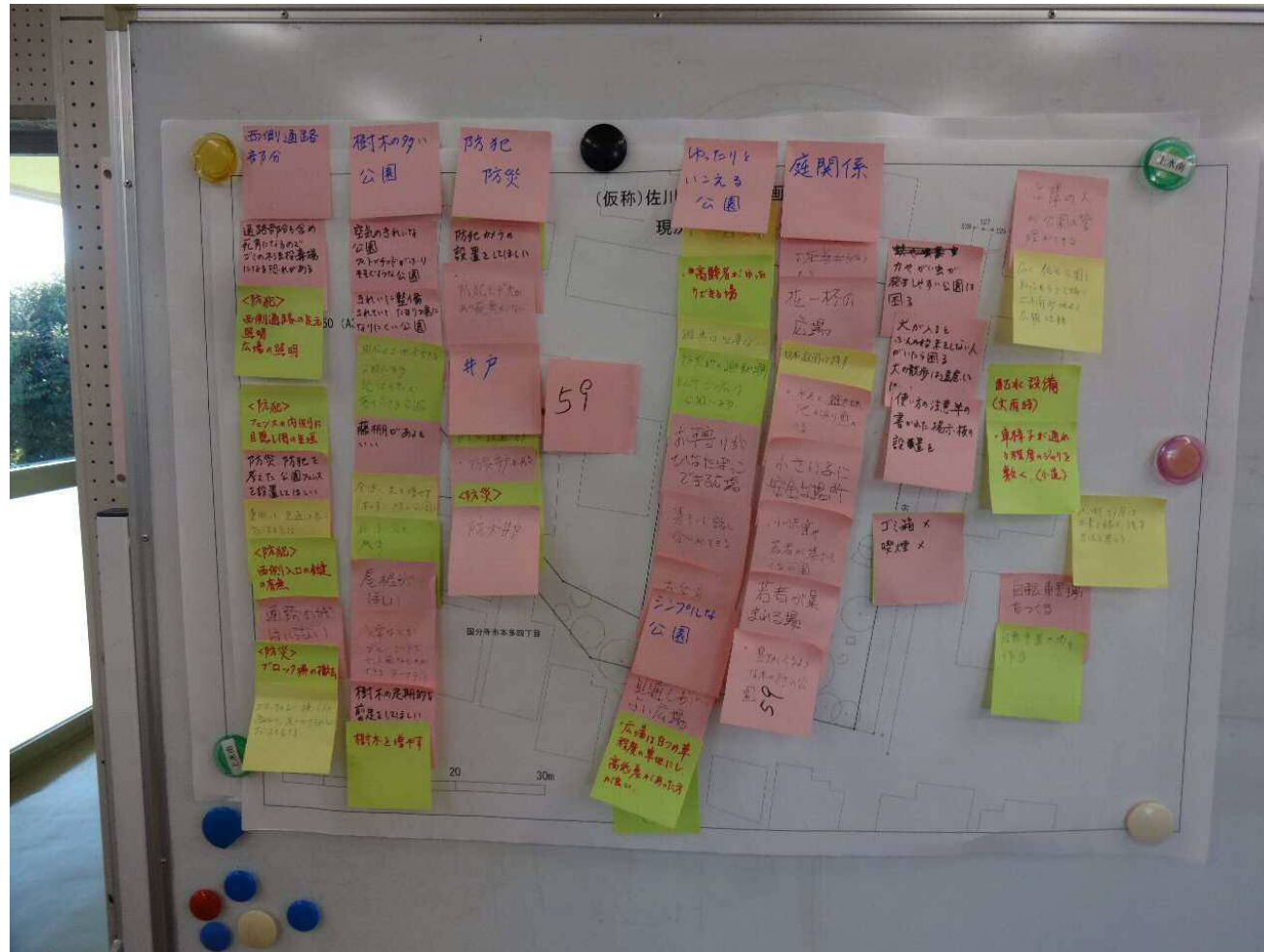
#### 3つのグループに分かれての話し合い

- ★公園のテーマについて
- ★どんな公園にしたいか
- ★計画案について
- ★公園に必要なもの、あるといいもの
- ★その他



# ◆第1回検討会の振り返り

## 各グループからの意見 (Aグループ)





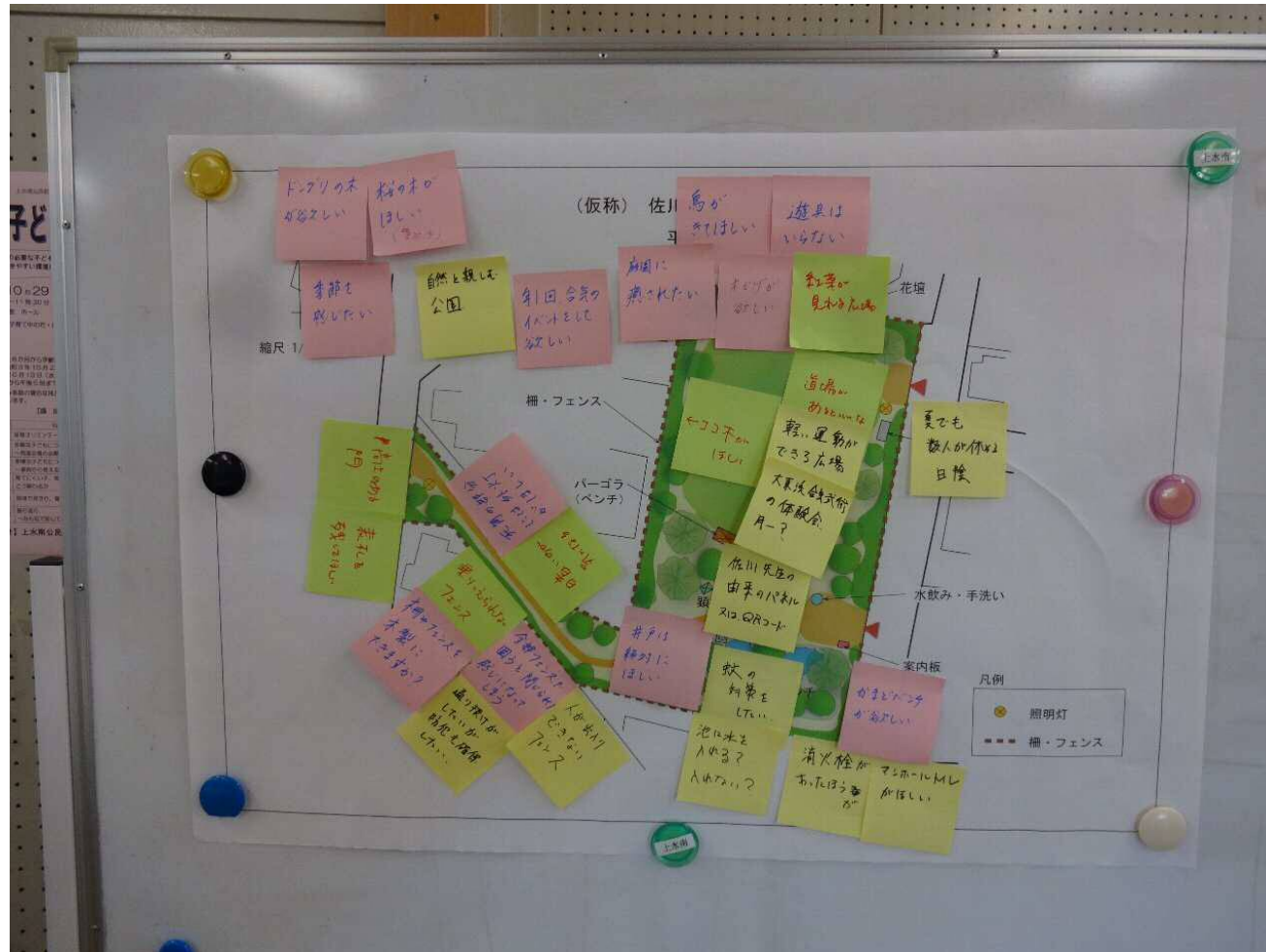
# ◆第1回検討会の振り返り

## 各グループからの意見（Bグループ）



# ◆第1回検討会の振り返り

## 各グループからの意見（Cグループ）





## ◆第1回検討会の振り返り

### ◆意見のまとめ：こんな公園にしたい

A  
グループ

自然を生かしたゆったりとした公園

B  
グループ

佐川先生の合気のことがわかる公園

C  
グループ

自然に触れ合うことができる公園

## ◆第1回検討会の振り返り

### ◆意見のまとめ：概略

#### ◆こんな公園にしたい

- ・四季の自然が楽しめ、樹木が多く、ゆっくり憩える
- ・子供から高齢者まで安心、安全に利用できる
- ・災害時の避難場所として使えるシンプルな場所

#### ◆計画案について

- ・敷地の一部を売却しないでできるだけ残す
- ・既存の樹木、日本庭園（灯籠・石等）は残す
- ・周囲の防犯や子供の安全に配慮したフェンスや樹木、施設の配置
- ・西側通路の通り抜けは検討が必要

#### ◆必要なもの、あると良いもの

- ・防災や防犯に配慮した施設は必要
- ・自転車置き場は必要

#### ◆その他

- ・公園の利用のルールについて。公園の維持管理について

## ◆第1回検討会の振り返り（顕彰碑について）

その土地に所縁ある人物を  
銅像にて後世に伝えることは多い



東京藝術大学内にある岡倉天心坐像



合気神社敷地内に平成21年に建立された、植芝盛平翁の銅像。

ふるさと納税の対象として、土地の由緒を伝える意味でも  
無形の空間より不朽の像があると良いと思ってやみません



合気公園の求心点として、  
佐川幸義先生を伝える顕彰碑という  
ことですが、品川にはそれがあります  
し、合気神社の例にもならって、銅  
像を設置するイメージが頭から離れ  
難く。

わが母校の開学の祖である上野は東  
京藝大内にある岡倉天心像（北茨城  
にある本人創建の六角堂に模した屋  
根がある）のイメージも浮かんでき  
て、そちらも離れ難く。

予算云々の話がありますが、クラウ  
ドファンディングやふるさと納税な  
どは、投資するターゲットとそれに  
対する熱い想いが成否の鍵を握るか  
と存じております。

という経緯でジャストアイデアで  
すが、不適ながらもイメージ写真を  
構成してみました。

何か心に触れるものがあったら幸い  
です。

佐川道場門人 中山宇生



# ◆第1回検討会の振り返り（小平の自然について）

## 水と緑の回廊 ～エコロジカルネットワーク～

小平市のような比較的都市化の進んだ地域においては、大きな野原の自然環境は強りにくく、小さな緑地や水辺が目立ちます。小さな緑地が目立つと、生態できる生き物の種類は少なく、次第に数を減らしていきます。生き物が豊かになるためには、水と緑のつながりが重要となります。面積が小さくとも、用水や緑道などの連続した水や緑があると、そこを往來して生き物の交流が生まれます。例えばオオカキやフクロウなどは、本来は大きな生息環境を必要とする種類ですが、まちなかでは、この連続性を巧みに利用して、いくつかの緑地を巣やエサ場などとして使い分けながら暮らしています。このようなつながりのことを「エコロジカルネットワーク（水と緑の回廊）」と呼びます。小平市の自然環境の特徴は、玉川上水をはじめとする、網の目のように張り巡らされた用水網です。今回の調査で、生き物たちは驚くほど人の暮らしの近くで往來していることが分かりました。ぜひ自宅近くでも、生き物を探してみてください。

### 玉川上水

江戸のまちに水を供給するために1600年代に造られた約43kmの水路です。湧り場や水辺の生き物の重要な棲息場所になっており、市内ではここでしか見られない生き物も多い貴重な生息環境です。

### 野火止用水

水の少ない丘陵野原地では、玉川上水から多くの用水が引かれました。最初に引かれたのが、野火止用水です。トンボやカエルなど、陸と水辺を往來する動物や、落ちた場所が好きな動物などが見られ、市内で最も生き物が豊かな場所のひとつです。

### 野火止の雑木林

玉川上水や、野火止用水沿いには、クス木やコナラ中心の雑木林が点在しています。このように、線につなげた雨水や緑道に点在しているまとまった緑は、小平市の生物多様性向上において、最も重要な拠点のひとつです。ここで採れた「市の盾」コゲラや、カブトムシなどは雨水を通じて店がり、市内の環境を豊かにします。

# こたいら 生き物マップ

小平中らしい自然環境である、雑木林や用水を象徴する生き物を調査対象に選定し、小平市民みんなと調べ上げる「小平の生き物調べ～みんなと探そう～」の結果、多くの目撃情報が集まりました。その結果をもとに「こたいら生き物マップ」を作成しました。みなさんの自宅や学校、会社の周りにどんな生き物がいるか、マップで見てください！※絶滅危惧種など一部の種類については、保護などのためにマップに載せておりません。

発行：小平市 環境部 環境政策課 ■ 編集：特定非営利活動法人 RPO birth



# ◆第1回検討会の振り返り（小平の自然について）





# グループワーキング

～具体的に整備案について考える～

## ◆ワークショップを行う上での注意事項

### ★話し合いのルール

- ① 参加者全員が必ず発言をする。
- ② 全ての意見を尊重する。（意見を否定しない。）
- ③ 一人が時間を独占して発言しない。
- ④ 個人のプライバシーには触れない。
- ⑤ 個人を攻撃してはいけない。

上記のルールが守られないと、ワークショップをうまく進めることができなくなってしまいます。みなさまのご協力をお願いいたします。

## 公園コンセプト

「こちよく、しなやかさのある公園」

◇住民に親しまれ、誰もが気軽に訪れることができる

地域コミュニティの拠点とする。

◇合気の聖地として、佐川先生の思いを知ってもらう。

◇防犯・防災機能を持ち、安心・安全に利用できる。

# ◆ 計画案



## ◆本日話し合うこと

### ◆公園整備（計画案）に向けた課題について

⇒前回の検討会で出た意見について

### ◆計画案に加えて具体的に必要のものについて

⇒防犯について

### ◆災害時に必要なものについて

⇒災害が発生した直後に活用できるもの

### ◆公園ができたあと、みんなで使うためのルールづくり

⇒ボール遊びや犬の立ち入りについて（小平市のルールが基本）

### ◆住民たちでできる公園の維持管理について

⇒アダプト制度の利用

※現況平面図に「基本計画案」をもとに具体的に公園レイアウト・施設の内容について意見交換をしながら描きこんでください。



◆計画地の様子（約1200㎡）



## ◆計画地及び周辺の状況（現況写真）





## ◆現況平面図



## ◆次回検討会のお知らせ

### 第3回検討会

日時：12月11日(土) 13:00～

場所：上水南公民館 2階ホール（第2回と同じです）

### 次回のテーマ：「整備案をまとめよう」

- ・ 今回の意見を基にした整備案の提示と意見交換  
⇒各グループ案を一つにまとめる。まとめた整備案についての  
意見交換を行い、市へ提示する整備計画案をまとめる。

☆ **次回の検討会に向けて、ぜひお住い周辺の公園に  
足を運んでみてください。**

END